

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【公開番号】特開2010-120454(P2010-120454A)

【公開日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2010-022

【出願番号】特願2008-294254(P2008-294254)

【国際特許分類】

B 6 0 R 11/02 (2006.01)

G 1 0 K 15/04 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 11/02 B

G 1 0 K 15/04 3 0 2 J

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月4日(2011.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車両の走行状態を取得する走行状態取得手段と、

前記車両における消耗品の消耗量を判定する消耗量判定手段と、

前記走行状態取得手段が取得した前記車両の走行状態と前記消耗量判定手段が判定した前記消耗品の消耗量とに基づいて、前記走行音を生成する走行音生成手段と、
を備えることを特徴とする車両用走行音生成装置。

【請求項2】

予め車両の走行音に関する音源データが記憶された音源記憶手段を更に備え、

前記音源記憶手段には、前記消耗量判定手段が判定する前記消耗品に対応した前記音源データが記憶されており、

前記走行音生成手段は、前記消耗量判定手段が消耗したと判定した前記消耗品に対応した前記音源データを前記音源記憶手段から選択することを特徴とする請求項1に記載の車両用走行音生成装置。

【請求項3】

予め車両の走行音に関する音源データが記憶された音源記憶手段を更に備え、

前記音源記憶手段には、前記消耗量判定手段が判定した前記消耗品の消耗量に応じて複数の前記音源データが記憶されており、

前記走行音生成手段は、前記消耗量判定手段が判定した前記消耗量に対応した前記音源データを前記音源記憶手段から選択することを特徴とする請求項1に記載の車両用走行音生成装置。

【請求項4】

予め車両の走行音に関する音源データが記憶された音源記憶手段を更に備え、

前記走行音生成手段は、前記音源記憶手段から読み出した前記音源データを前記消耗量判定手段が消耗したと判定した前記消耗品に応じて所定の加工を施すことを特徴とする請求項1に記載の車両用走行音生成装置。

【請求項5】

予め車両の走行音に関する音源データが記憶された音源記憶手段を更に備え、

前記走行音生成手段は、前記音源記憶手段から読み出した前記音源データを前記消耗量判定手段が判定した前記消耗品の消耗量に応じて所定の加工を施すことを特徴とする請求項1に記載の車両用走行音生成装置。

【請求項6】

前記走行音生成手段により生成された走行音を出力する出力手段を更に備えることを特徴とする請求項1～6のいずれか一項に記載の車両用走行音生成装置。

【請求項7】

車両の走行音を生成する車両走行音生成装置で使用される車両走行音生成方法において、
、
前記車両の走行状態を取得する走行状態取得工程と、
前記車両における消耗品の消耗量を判定する消耗量判定工程と、
前記走行状態取得工程により取得された前記車両の走行状態と前記消耗量判定工程により判定された前記消耗品の消耗量とに基づいて、前記走行音を生成する走行音生成工程と、
、
を含むことを特徴とする車両走行音生成方法。

【請求項8】

請求項7に記載の車両用走行音生成方法をコンピュータに機能させることを特徴とする車両用走行音生成プログラム。

【請求項9】

請求項8に記載の車両用走行音生成プログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上述した課題を解決するため、請求項1に記載の車両用走行音生成装置は、車両の走行状態を取得する走行状態取得手段と、前記車両における消耗品の消耗量を判定する消耗量判定手段と、前記走行状態取得手段が取得した前記車両の走行状態と前記消耗量判定手段が判定した前記消耗品の消耗量とに基づいて、前記走行音を生成する走行音生成手段と、を備えることを特徴としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項7に記載の車両用走行音生成方法は、車両の走行音を生成する車両走行音生成装置で使用される車両走行音生成方法において、前記車両の走行状態を取得する走行状態取得工程と、前記車両における消耗品の消耗量を判定する消耗量判定工程と、前記走行状態取得工程により取得された前記車両の走行状態と前記消耗量判定工程により判定された前記消耗品の消耗量とに基づいて、前記走行音を生成する走行音生成工程と、を含むことを特徴としている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項8に記載の車両用走行音生成プログラムは、請求項7に記載の車両用走行音生成方法をコンピュータに機能させることを特徴としている。